

文化近代化の含意と測定指標について

周維宏

北京外国語大学日本学研究センター

要旨 文化は壁を越えやすいと言われるが壁を越えたら文化はどのように変化するか。社会学の一般理論によればひとつの国の近代化は普通、四つの側面がある。すなわち政治、経済、社会と文化のそれぞれの近代化である。文化の近代化は壁を越える文化の展開だろうか。本論はこれを念頭に文化近代化の概念や含意を考える。さらに近代化の段階の測定には政治、経済、社会の側面と比較して文化の近代化は割合に難しい。特に計量的な測定には完成された方法がなくまだ大きな課題が残されているといえる。本論も日本文化の近代化の測定を課題にし先行研究を整理するうえで測定の指標を考える。文化近代化の含意と測量は文化研究には重要な意義がある。測量によって文化研究の正確性、比較性、予測性において質が改善されると思われる。

本論の構成は次のようである。

始めに

一、先行研究

二、本論の枠組みと方法

三、文化近代化の含意と測定指標

終わりに

キーワード：

近代化 文化 測定指標